

2007年8月9日

各位

オリックス不動産株式会社

ロケーションサービスをスタート

～不動産業界初 映画・ドラマ・CM制作に施設を提供～

オリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:西名 弘明)は、2007年8月15日より「オリックスロケーションサービス」を開始します。

オリックスロケーションサービスとは、当社及び当社関連会社が全国に所有・管理・運営する不動産施設を、映画やドラマ・CMなどの映像制作会社へ有償で提供するサービスです。映像制作会社と多数の取引実績を持つ株式会社地域活性プランニング(本社:東京都港区、社長:藤崎 慎一)と提携し、積極的な受入れを図ります。

現在、国内におけるロケ地の斡旋は、主に各地方の自治体などが“ロケ受け入れ機関”(フィルムコミッションなど)を設置し、その地域と映像制作会社との橋渡しを行っています。2007年7月現在、全国フィルムコミッション連絡協議会に加盟している団体は、97箇所までに拡大しており、各地域がロケを受け入れることの経済効果に着目し始めています。

また、Web配信される映画の普及や国内映画の興行収入が好調なことを背景に、近年はたくさんの作品が輩出されており、本年度の国内映画制作数は昨年を上回ると見られています。今後もWeb配信をはじめ、映像コンテンツの出口は多様化することなどから、制作やロケを行う機会が増えていくことが予想されます。

当社は、2004年に開発した大規模複合タウン「マークスプリングス(横浜市瀬谷区、全734戸)」にて、映画、ドラマ、CM、雑誌など、60本以上の撮影を受け入れた実績があります。成長を続ける映像業界にロケ地の提供を行うことで、地域社会活性化への貢献、プロジェクトの販売・集客促進、新たなビジネス機会の創出(施設使用料、レンタカー・ホテルの紹介サービス等)、に繋がると考えています。

以上

【報道関係のお問い合わせ先】

オリックス株式会社 社長室広報グループ 担当:石井、日野原 Tel:03-5419-5102

【サービス名称及びサービスマーク】



ORIX LOCATION SERVICE

商標登録出願申請中

【オリックスロケーションサービス公式HP】

<http://www.o-location.com>

HP 製作・運営: 株式会社デベロップジャパン(本社: 東京都港区、社長: 高橋 友広)

【会社概要】

オリックス不動産株式会社

社長: 西名 弘明(オリックス株式会社 取締役兼執行役副社長)

本社: 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル

(事業内容)

住宅開発事業部門、不動産投資事業部門、プロジェクト開発事業部門、運営事業部門

株式会社地域活性プランニング

社長: 藤崎 慎一

本社: 東京都港区西新橋1-11-3 虎ノ門アサヒビル7F

(事業内容)

映画・ドラマのロケ地情報誌『ロケーションジャパン』の発行、ロケ地情報を通じたコンテンツビジネス、地域開発のための調査・コンサルティング、観光行政などへ人材育成などを通じた地域活性化ソリューションの提供など。

株式会社デベロップジャパン

社長: 高橋 友広

本社: 東京都港区麻布十番 1 - 7 - 3

(事業内容)

広告業務全般、WEB 全般(プランニング、制作運営、媒体管理)グラフィック制作

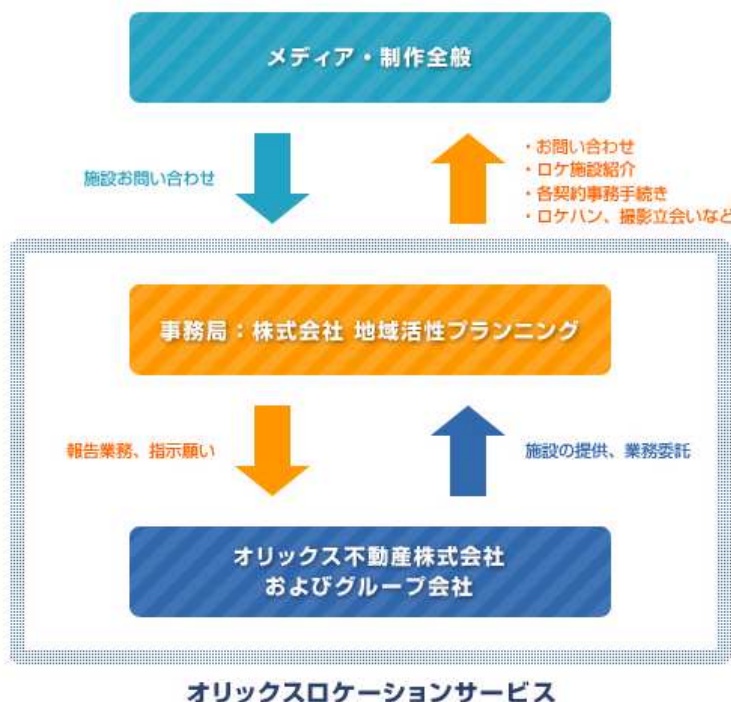
以上

参考資料

1.オリックスロケーションサービス、スキーム図

オリックス不動産及び関連会社が所有、管理、運営する不動産施設の使用に関して、地域活性プランニングに業務を委託し、同社が映像制作会社の窓口を担います。

専属スタッフが映像制作会社のリクエストをもとに施設紹介を行い、ロケハン、申込・契約手続き、撮影本番の立会いから原状復帰に至るまで、迅速かつ丁寧・的確に対応いたします。



2.対象施設一覧(本日現在)

 マンション・モデルルーム 全国 16ヶ所	 ホテル 全国 8ヶ所	 セミナーハウス 全国 5ヶ所
 ゴルフ場 全国 25ヶ所	 水族館 全国 1ヶ所	 温泉 全国 5ヶ所
 ドーム 全国 1ヶ所	 高齢者住宅 全国 8ヶ所	 リゾートホテル 全国 2ヶ所

分譲マンションからモデルルーム、ビジネスホテル、温泉旅館、野球場、ゴルフ場、介護施設まで。あらゆるシーンに対応可能な施設を提供します。

オリックスロケーションサービスでは映像制作会社にとって安心で上質のサービスを提供することを心掛けています。専属スタッフの同行は当初、関東圏内に限らせていただきますが、今後、範囲を広げていく予定です。

施設ごとによって使用条件、利用料金等が異なります。

3. マークスプリングスにおけるロケ受入れ実績について

2004年9月～2005年8月までの1年間で、計60本以上の映像作品のロケ受入れを行いました。映画5作品(角川映画、ぴあ、松竹作品など)、テレビドラマ3本(関西テレビ系、日本テレビ系等)、情報・バラエティ番組7本(日本テレビ系、NHK、Web系)、CM作品7本、その他新聞・雑誌等。



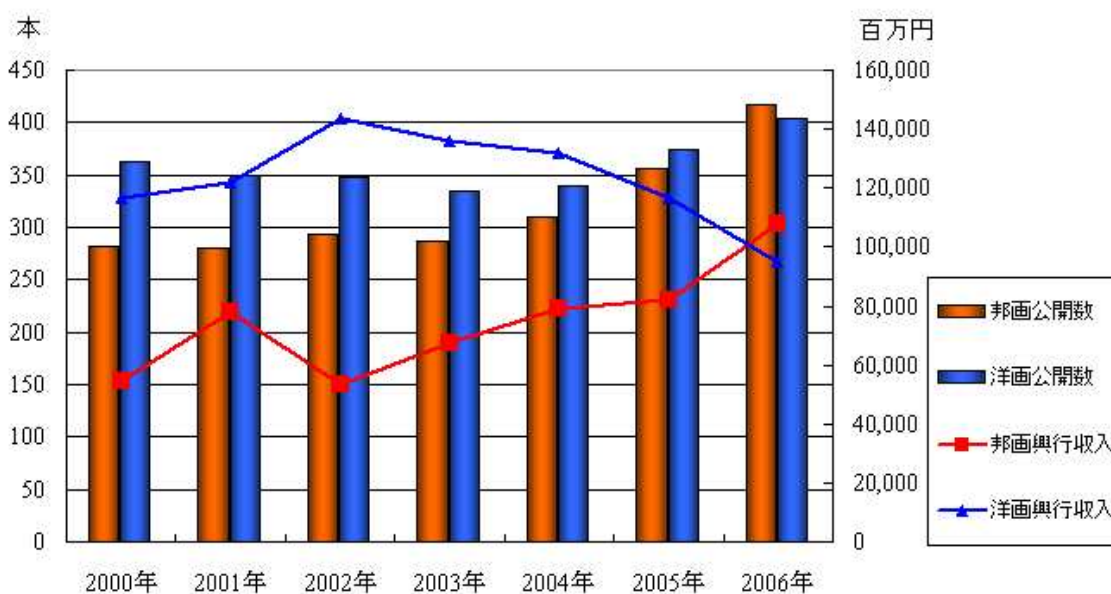
マークスプリングスでの撮影風景。エキストラとして住民が参加する撮影もあった。

CMを除く媒体にはクレジット協力を依頼し、間接的な物件認知度の向上を図りました。結果、ロケ受入れにより、街が幅広く認知され、かつイメージアップに繋がり、多数の見学や物件購入の検討に訪れるお客さまが増加しました。また、ロケ地提供の対価として得た施設使用料は、管理組合の収入として全額納入されました。

4. 映像コンテンツ市場について(映画市場に限る)

2000年以降、邦画の公開数は増え続け、2006年には公開本数、興行収入ともに洋画を上回り、国内における映画制作のさらなる成長が見込まれています。

映画公開本数および興行収入(2000-2006)



参考: 社団法人日本映画製作者連盟 過去データ一覧表
以上